

## ～切尔西フラワーショー2024に参加された2名～ (昨年度大会優秀者)

**藤井 宏海さん**  
フリーランス

西日本短期大学・緑地環境学科で造園について学び、卒業後は設計やランドスケープデザインを行う事務所を経て、現在はフリーランスとして県内外でガーデンの設計やデザイン制作などを行っている。

その他に、植物園を拠点に宿根草を取り入れた「ねづくプロジェクト」や持続可能なまちづくりを目指す「まちにわプロジェクト」などに参画し、精力的に花・みどりの魅力を伝える活動に取り組んでいる。



**林 雲採 (イム ウンチェ) さん**  
マタケ造景株式会社 所属  
緑のコーディネーター

大学で林学を専攻し、韓国の千里浦(チョリポ)樹木園での勤務を経て、英国王立園芸協会(RHS)のWisley Garden及び米国フィラデルフィアLongwood Gardenでの研修後、マタケ造景株式会社で園芸造園業に従事。

社内では花壇部(Flower Space フノハナ)を発足させたり、西部運動公園で再生ガーデンを管理するなど、「再生・循環・共生をもとに色んな形の“ガーデニングのワ”を広めたい!」との熱い想いで精力的に活動している。



## 切尔西フラワーショー 2023に参加された3名 (チャレンジ切尔西第1期)

一人一花フラワーガーデンチャンピオンシップ2022の優秀者である以下3名は、切尔西フラワーショー2023に石原和幸氏のチームの一員として参加しました。帰国後は、一人一花運動をけん引するパートナーとして、ガーデナー同士のネットワークを構築したり、まちなかで花装飾のしごとに携わるなど、一人一花運動の輪を広げる取り組みを実施いただいています。

**石井 康子さん**  
修猷なでしこ会



**岩元 敬子さん**  
リバーラガーデン花の会



**木村 愛さん**  
福岡花いっぱいプロジェクト



# Flower Garden Championship 2024



# 一人一花フラワーガーデンチャンピオンシップとは

一人一花フラワーガーデンチャンピオンシップは、下記の市内3コンテストの優秀者が集い、それぞれのガーデン技術を競い、ガーデンの質を高めることで、ガーデン文化の定着に繋げていく場として開催しています。  
 また、その中から毎年イギリスで開催されるチェルシーフラワーショーに、一人一花アンバサダーである石原和幸氏のチームの一員として参加するメンバー2名を選出します。

- テーマ** 「思わず立ち止まりたくなる一人一花フラワーガーデン」
- 審査日** 令和6年10月5日(土)
- 審査員** 高島市長、石原和幸氏、卜部仁美氏 の3名
- 審査方法** 当日の花壇審査(テーマ性・デザイン性・完成度)  
事前の動画審査(一人一花運動の次世代のキーパーソン候補となる人材面を審査)



3月 うみなかフラワーガーデンコンペティション



4月 一人一花スプリングフェス 市民花壇コンテスト



7月 ホークスみんなのガーデンフラワーガーデンコンテスト



# チャンピオンシップ花壇ゾーン



# 出展団体のご紹介

デザインパースや花壇レシピなどの詳細はこちら>>



- 1** Souheki株式会社  
『Growing with Emotion』
- 2** 優秀賞受賞!  
福岡花いっぱいプロジェクト  
『四季を楽しむベランダガーデン』
- 3** ひびの\_みどり (ムーングリーン)  
『VneVne&Vne』
- 4** マタケ造景株式会社&minami  
『Big Hug』
- 5** Blomst  
『油山の椿の森で』
- 6** チーム 地球のこども舎×福岡花いっぱいプロジェクト  
『夢のかけはこ』
- 7** ひびの\_みどり (ミントデザイン室)  
『花のベンチがある場所』
- 8** ガーデニングチーム Green thumbs  
『Bar forest』
- 9** 株式会社ランドスケープむら  
『いきもの天高く』
- 10** 優秀賞受賞!  
fuminiwa design (feb-garden)  
『とくめきのち笑顔』